

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

芦北たまねぎ「サラたまちゃん」の安定生産に向けて ～高温対策の実証～

芦北地域では、温暖な気候を利用したタマネギ栽培が盛んに行われており、JAあしきたサラたまちゃん部会が生産するタマネギは「サラたまちゃん」としてブランド化され、早いもので1月下旬から出荷されています。

一方、芦北地域では、8月下旬から播種を行っており、近年の高温の影響で発芽率が著しく低下するなど、生産量が不安定な状況となっていました。

そこで、令和8年産（令和7年8月下旬～播種）で、遮光ネット利用による高温対策の実証展示ほを設置し、発芽率や生育への影響を調査しました。

その結果、遮光により地温が低下し、発芽率が向上するということがわかりました。さらに、展示ほの調査結果を早急に取りまとめ、管内の生産者に広く情報提供したことで、この取組みが地域全体に広がり、生産者それぞれが創意工夫しながら高温対策に取り組みました。

夏期の高温対策は早出し産地の重要な課題です。芦北支部では、今回の実証ほでの調査結果や生産者それぞれの取組みを踏まえ、より効果的な対策を検討・実証し、サラたまちゃんの安定生産に向けて引き続き取り組んでいきます。



タマネギ育苗の様子



高温対策実証ほの様子
(左側：試験区、右側：慣行区)